

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1 人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	2025年に新入社員4名(男2女2)が入社したことで専属の相談職員を配置し月1回のカンファレンスを実施している。WEBや講習会での新人教育を実施している。							5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	就業規則に「ハラスメント防止規程」を定め社員周知の徹底を図っている。安全大会で経営者、管理職を含む全社員で外部講師によるハラスメント教育を実施している。							5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	現場の完全週休2日制ならびに有給休暇の積極的取得に取り組んでいる。長時間労働については2024年度の残業時間を2022年度の半分に減少させた。											8.5 8.8						
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している																		
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	各現場については、毎週の巡視、月1回の安全パトロール、年2回の経営者パトロールを実施している。月1回の店社安全衛生委員会で労働環境整備に取り組んでいる。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	全社員を対象に「メンタルヘルス教育」ならびに「自己アンケート調査」を実施しメンタル管理に努めている。社内交流会も実施。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	「北海道働き方改革推進企業認定制度」を取得。「エイジーフレンドリー計画」を策定。女性や高齢者にやさしい建設現場の構築を目指している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	各種免許取得への助成、ならびに更新時講習への補助を行っている。新入社員の継続的WEB講座の受講、社内ガイダンスを行い計画的育成につとめている。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	同一労働同一賃金を重視し給与体系の見直しならびに賃金アップを実施している。キャリアアップシステムを導入。 季節雇用から通年雇用への移行促進。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	全社員に対し「人間ドック」の全額助成を実施している。 「健康経営優良法人認定制度」取得。 外部講師によるセミナーの実施。			3				8									
		11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	各現場のゴミ分別の徹底とリサイクルの推進。再生コピー用紙の使用と両面使用。廃材削減、やり直し無駄削減、廃棄物発生抑制。紙ベース管理を電子データ管理へ移行。										11.6 12.4 12.5			14.1		
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	社内照明灯、現場事務所のLED化を実施している。							7.3						13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	照明灯のLED化を実施。 電気冷蔵庫の使用個数を減少。 暖房機器の適用温度を最小限に使用。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	「科学物質リスクアセスメント」マニュアルにそって各現場でシート作成管理を実施し安全パトロー時にチェック点検を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	低騒音型機械を使用し周辺環境への配慮を徹底。 防塵処理(養生)を徹底し粉じん飛散の防止を図る。 海の工事は汚濁防止フェンスを設置し濁水流出を防止。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる																		
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している																		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	自社ホームページで取組みを紹介(植栽等)。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	地域電力会社(自然エネルギー発電)の出資者でもあり再生可能エネルギーの利用推進に取り組んでいる。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	現場事務所に間伐材を使用した掲示板を使用。 再生紙の積極的利用を図る骨材の再利用に努めている。												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	現場の使用資材は、提出された「品質証明書」を確認し発注者の了承を得たうえで、品質・安全を確保している。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	共通仕様書の管理基準より厳しい自社の管理基準を設けることで品質の精度を高めている。 毎月開催の「工程会議」において各現場の品質管理の課題を整理している。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	現場では、極力、プレキャスト製品を使用することとし、防波堤工事においてもプレキャスト型枠で施工を行った。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる																		
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	大雨、大雪その他の異常気象時の情報収集と迅速な対応に努めている。現場周辺の住民には一軒一軒工事内容の説明と協力要請に努めている。				4					9		11	12		14	15		17

カテゴリー ・地域貢献	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	毎年、道立公園のボランティア清掃や海岸漂流物のクリーン作戦等に積極的に参加するとともに、島の沿道美化のための植栽を行っている。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外販）している	下請業者や資材会社は地元企業を優先している。使用材料については北海道産・地元産を優先している。地域学生の工事現場見学などを積極的に受け入れている。								8	9		11	12	13				

